

## 令和 5 年住生活総合調査の結果（中間報告）

## 1 調査の目的

居住環境を含めた住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度等を総合的に調査することにより、住宅政策の基礎的資料を得ることを目的とする（国土交通省実施）。

## 2 調査時期

令和 5 年 12 月 1 日基準日（5 年周期）

## 3 調査対象

令和 5 年住宅・土地統計調査（令和 5 年 10 月 1 日基準日）の調査対象世帯から無作為抽出（全国で約 11.36 万世帯）

## 4 主な調査項目

- ・現在の住宅及び居住環境の評価について
- ・現在の住まい、以前のお住まいについて
- ・今後の住まい方について

## 5 神奈川県における調査規模

調査実施市町村：30 市町（横浜市泉区、山北町、真鶴町、清川村以外）

調査区数：543 調査区

対象世帯数：5,430 世帯（1 調査区あたり 10 世帯）

集計世帯数：3,152 世帯

## 6 地域区分

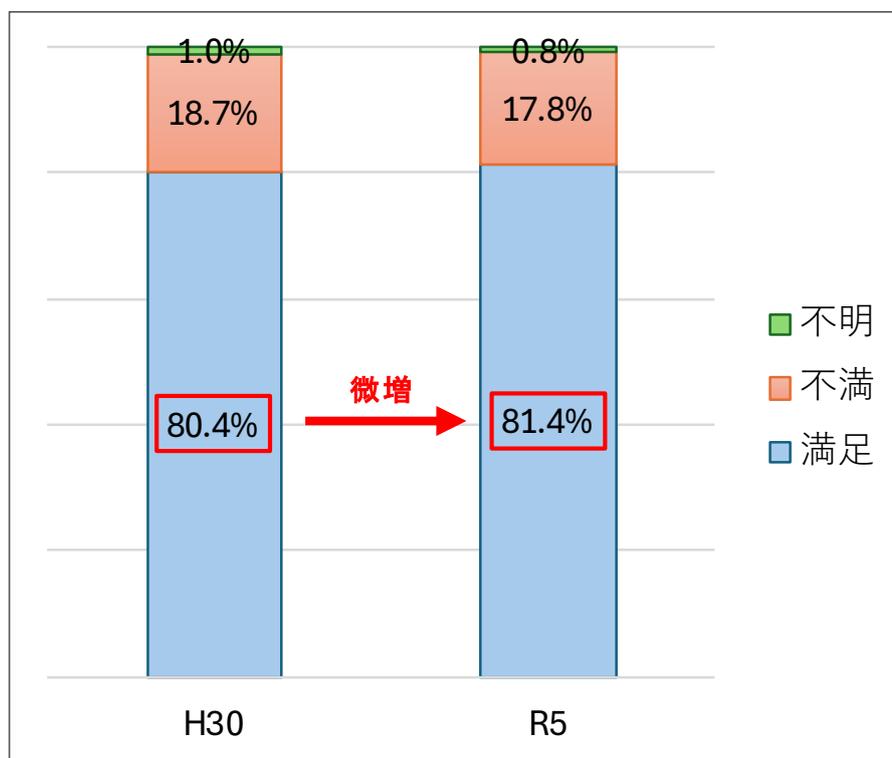
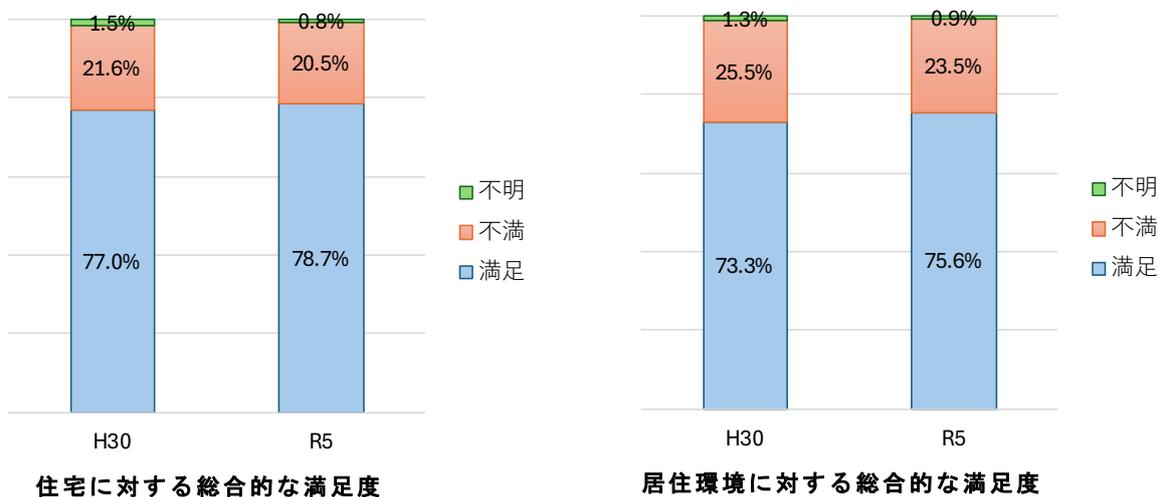
地域区分	市町村名
横 浜	横浜市※泉区を除く
川 崎	川崎市
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
県 央	相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町 ※清川村除く
湘 南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、 二宮町
県 西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、 湯河原町※山北町、真鶴町除く

## 7 調査の主な結果

### 1) 住宅及び居住環境に対する評価

調査対象：全世帯

○いずれも「満足」が約8割、前回調査（H30）より総合的な満足度が増加  
○「居住環境に対する総合的な満足度」が相対的にやや低い。



住宅及び居住環境に対する総合的な満足度

## 2) 住宅及び居住環境に関する重要度

調査対象：全世帯

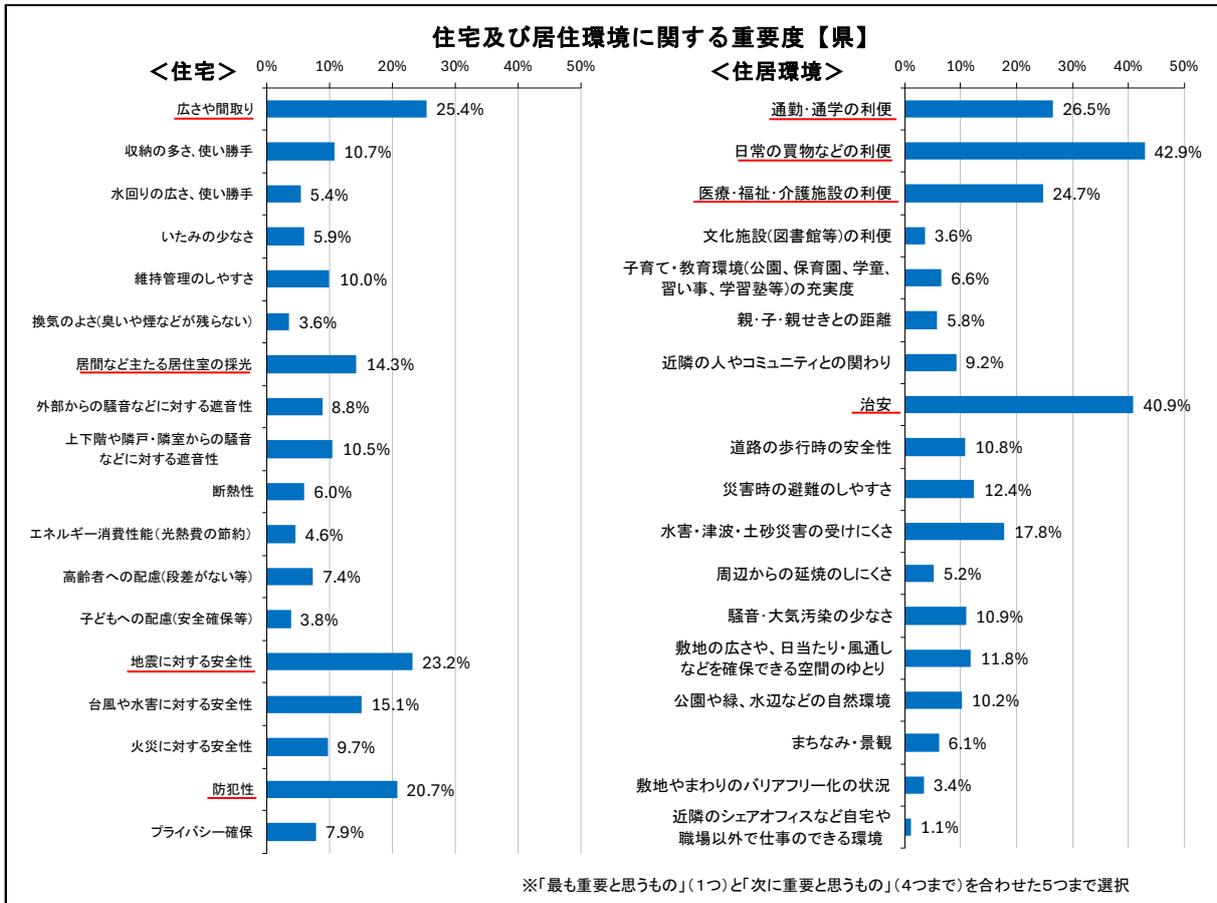
### 【上位項目】

#### ○住宅

- ・ 広さや間取り (25.4%)
- ・ 地震に対する安全性 (23.2%)
- ・ 防犯性 (20.7%)
- ・ 居間など主たる居住室の採光 (14.3%)

#### ○居住環境

- ・ 日常の買物などの利便 (42.9%)
- ・ 治安 (40.9%)
- ・ 通勤・通学の利便 (26.5%)
- ・ 医療・福祉・介護施設の利便 (24.7%)



### 3) 住宅及び居住環境に関する重要度（子育て世帯及び高齢者世帯）

#### 調査対象

- ・子育て世帯：親と子供からなる世帯（長子 17 歳以下）
- ・高齢者世帯：夫婦（家計を主に支えるものが 65 歳以上の夫婦のみの世帯）及び単独世帯（65 歳以上）

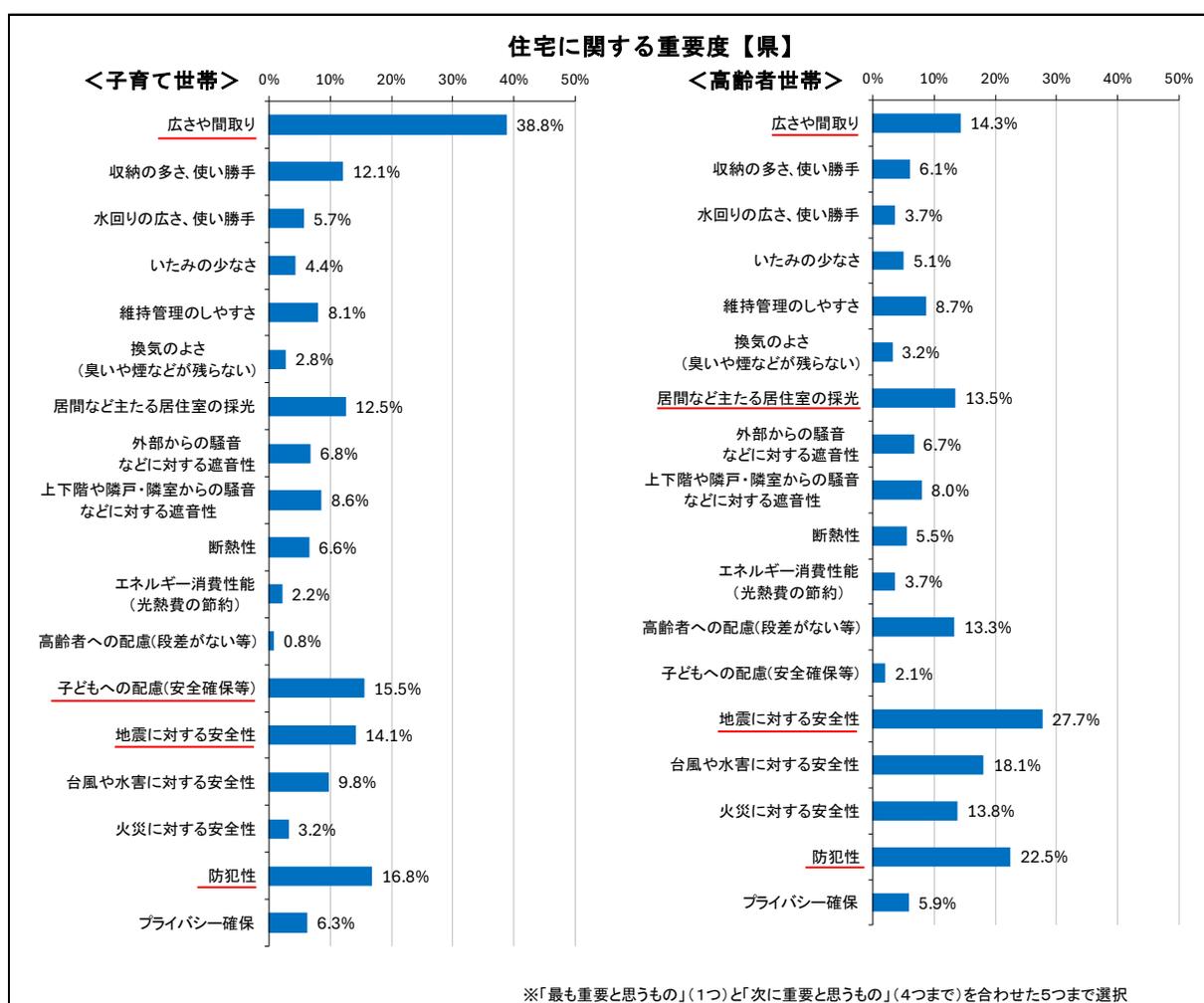
#### 【上位項目】

##### ○子育て世帯

- ・広さや間取り（38.8%）
- ・防犯性（16.8%）
- ・子どもへの配慮（安全確保等）（15.5%）
- ・地震に対する安全性（14.1%）

##### ○高齢者世帯

- ・地震に対する安全性（27.7%）
- ・防犯性（22.5%）
- ・台風や水害に対する安全性（18.1%）
- ・広さや間取り（14.3%）



## 調査対象

- ・子育て世帯：親と子供からなる世帯（長子 17 歳以下）
- ・高齢者世帯：夫婦（家計を主に支えるものが 65 歳以上の夫婦のみの世帯）及び単独世帯（65 歳以上）

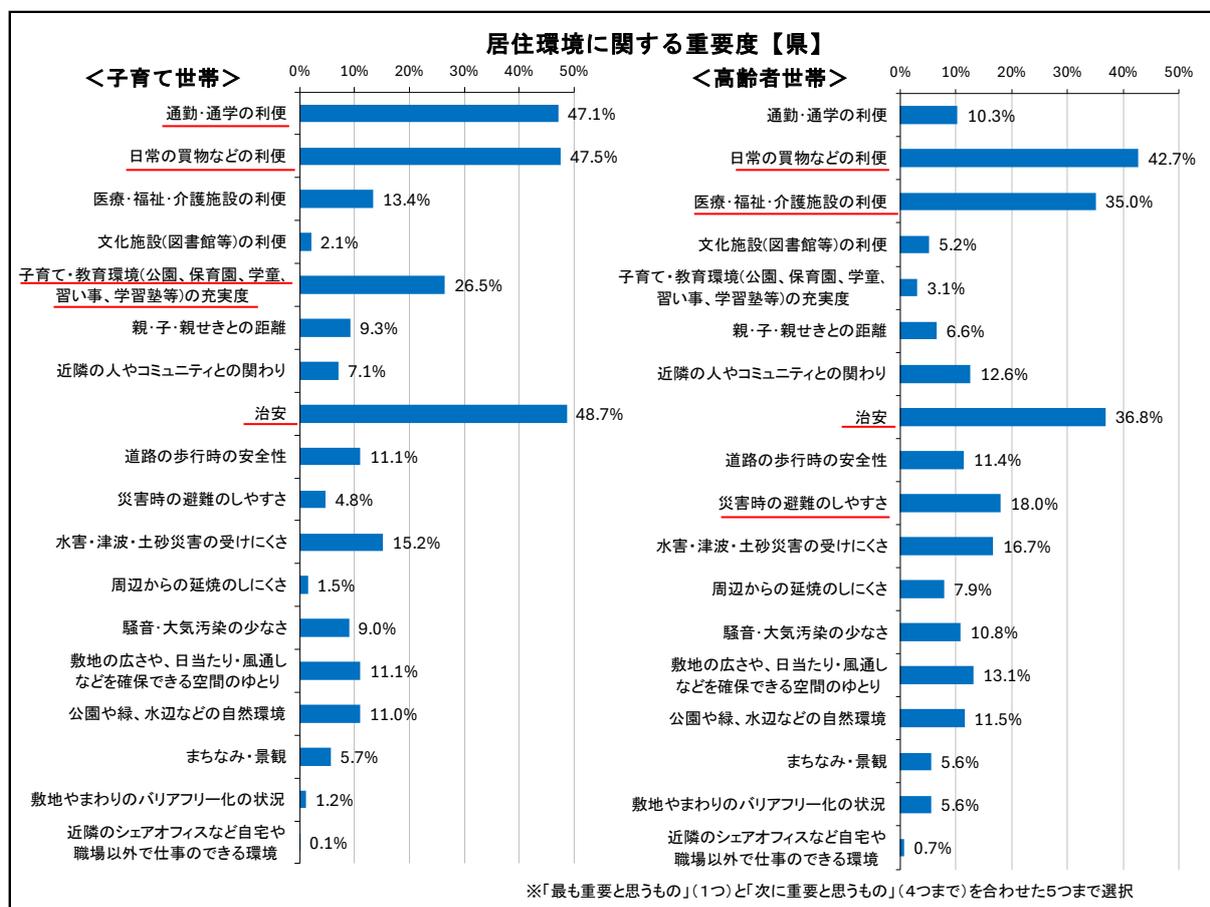
## 【上位項目】

### ○子育て世帯

- ・治安（48.7%）
- ・日常の買物などの利便（47.5%）
- ・通勤・通学の利便（47.1%）
- ・子育て・教育環境（公園、保育園、学童、習い事、学習塾等）の充実度（26.5%）

### ○高齢者世帯

- ・日常の買物などの利便（42.7%）
- ・治安（36.8%）
- ・医療・福祉・介護施設などの利便（35.0%）
- ・災害時の避難のしやすさ（18.0%）

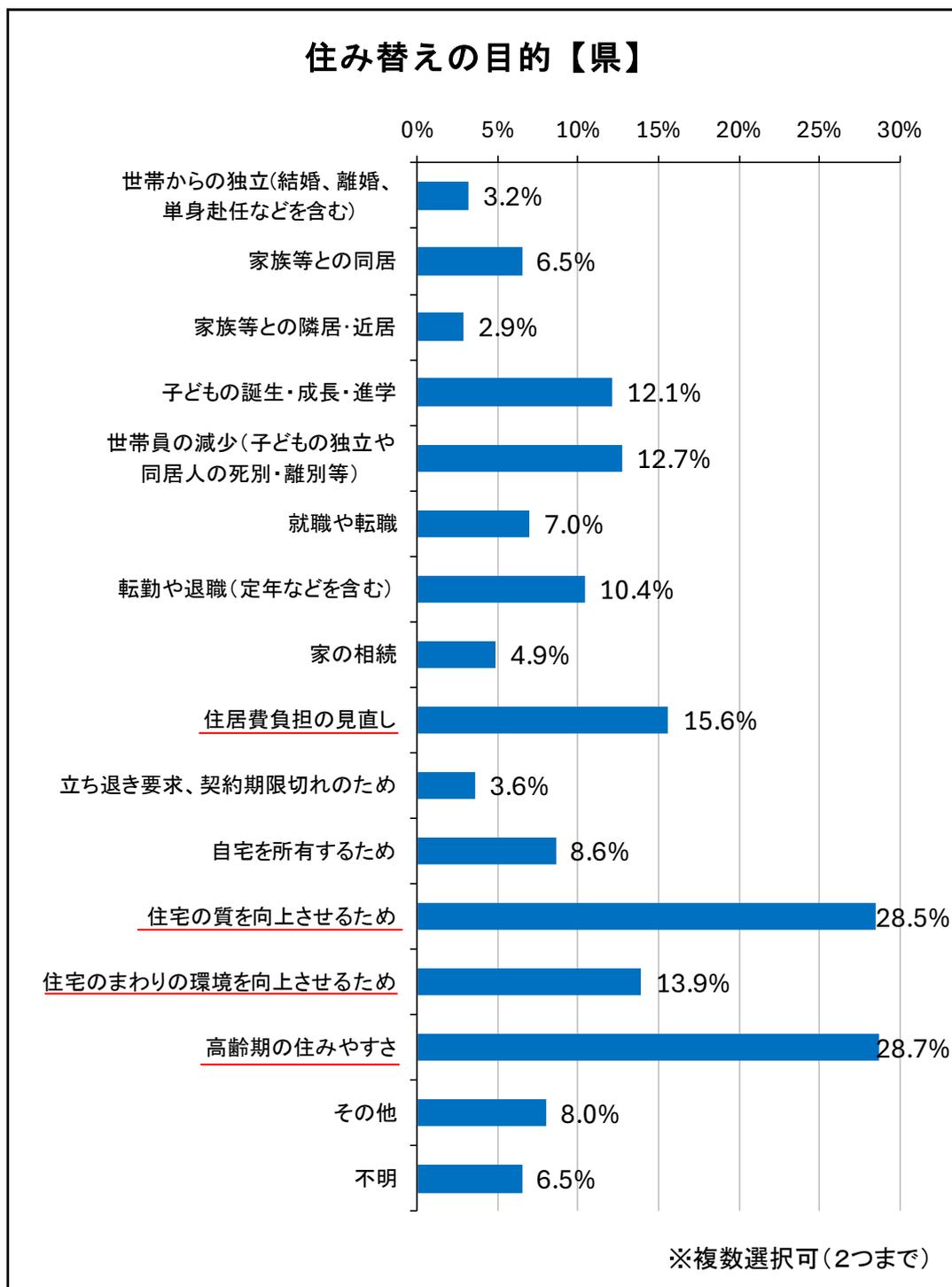


#### 4) 住み替えの目的や理由

調査対象：住み替え意向のある世帯

##### 【上位項目】

- ・ 高齢期の住みやすさ (28.7%)
- ・ 住宅の質を向上させるため (28.5%)
- ・ 住宅費負担の見直し (15.6%)
- ・ 住宅のまわりの環境を向上させるため (13.9%)



## 5) 住み替えの実現上の課題

調査対象：住み替え意向のある世帯

※借家等には施設等を含む

### 【上位項目】

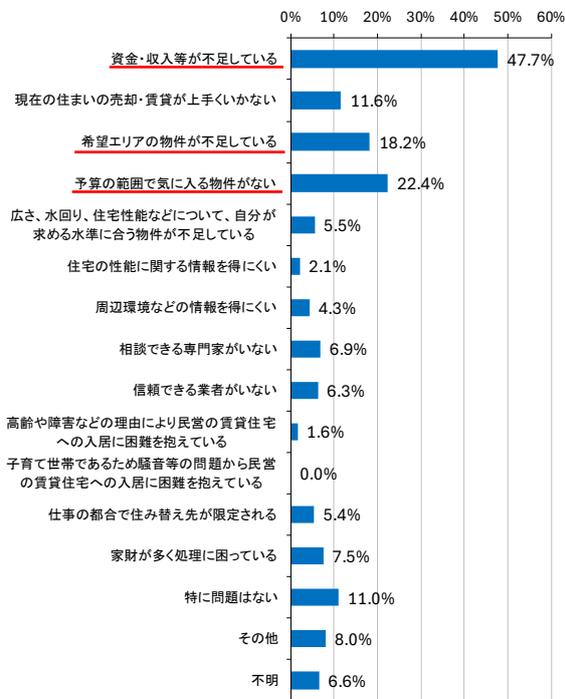
#### ○持ち家→持ち家

- ・資金・収入等が不足している (47.7%)
- ・予算の範囲で気に入る物件がない (22.4%)
- ・希望エリアの物件が不足している (18.2%)

#### ○持ち家→借家等

- ・資金・収入等が不足している (31.3%)
- ・特に問題ない (20.0%)
- ・相談できる専門家がない (19.5%)

### 持ち家→持ち家への住み替え意向のある世帯【県】



※複数選択可(2つまで)

### 持ち家→借家等への住み替え意向のある世帯【県】



※複数選択可(2つまで)

調査対象：住み替え意向のある世帯

※借家等には施設等を含む

【上位項目】

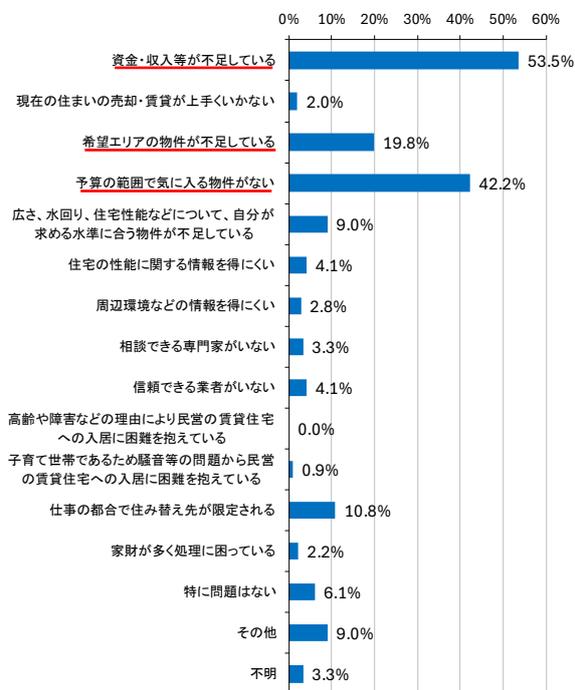
○借家→持ち家

- ・資金・収入等が不足している (53.5%)
- ・予算の範囲で気に入る物件がない (42.2%)
- ・希望エリアの物件が不足している (19.8%)

○借家→借家等

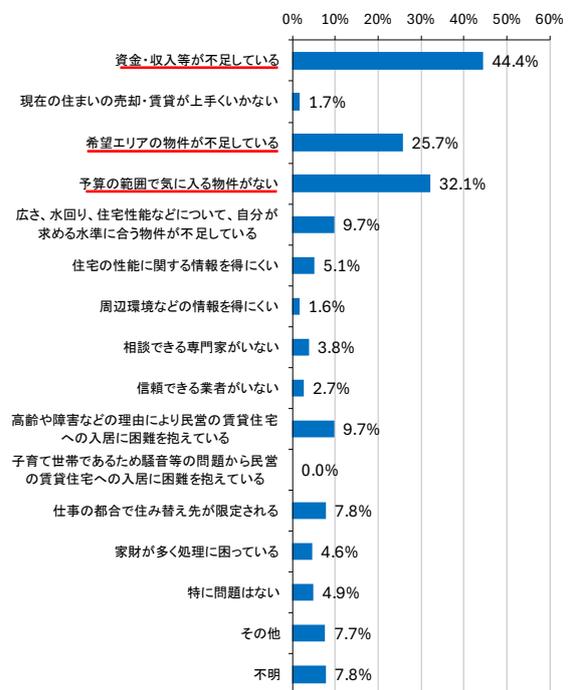
- ・資金・収入等が不足している (44.4%)
- ・予算の範囲で気に入る物件がない (32.1%)
- ・希望エリアの物件が不足している (25.7%)

借家→持ち家への住み替え意向のある世帯【県】



※複数選択可(2つまで)

借家→借家等への住み替え意向のある世帯【県】



※複数選択可(2つまで)

## 6) 今後の住み替え意向

調査対象：全世帯

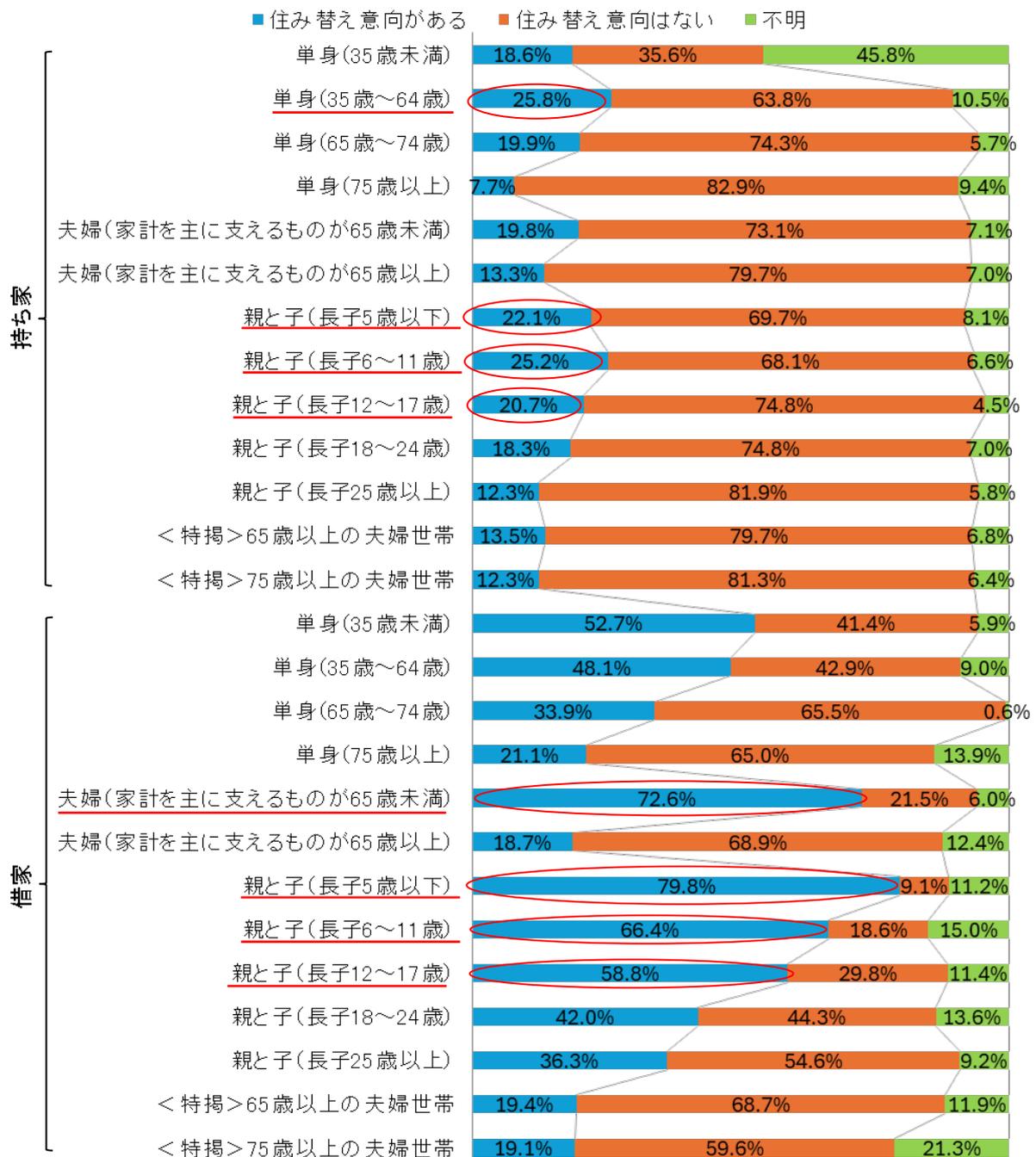
### 【住み替え意向がある世帯の上位項目】

#### ○持ち家に住む世帯

- ・ 単身 (35～64 歳) (25.8%)
- ・ 親と子 (長子 6～11 歳) (25.2%)
- ・ 親と子 (長子 5 歳以下) (22.1%)
- ・ 親と子 (長子 12～17 歳) (20.7%)

#### ○借家に住む世帯

- ・ 親と子 (長子 5 歳以下) (79.8%)
- ・ 夫婦 (家計を主に支えるものが 65 歳未満) (72.6%)
- ・ 親と子 (長子 6～11 歳以下) (66.4%)
- ・ 親と子 (長子 12～17 歳) (58.8%)



調査対象：全世帯

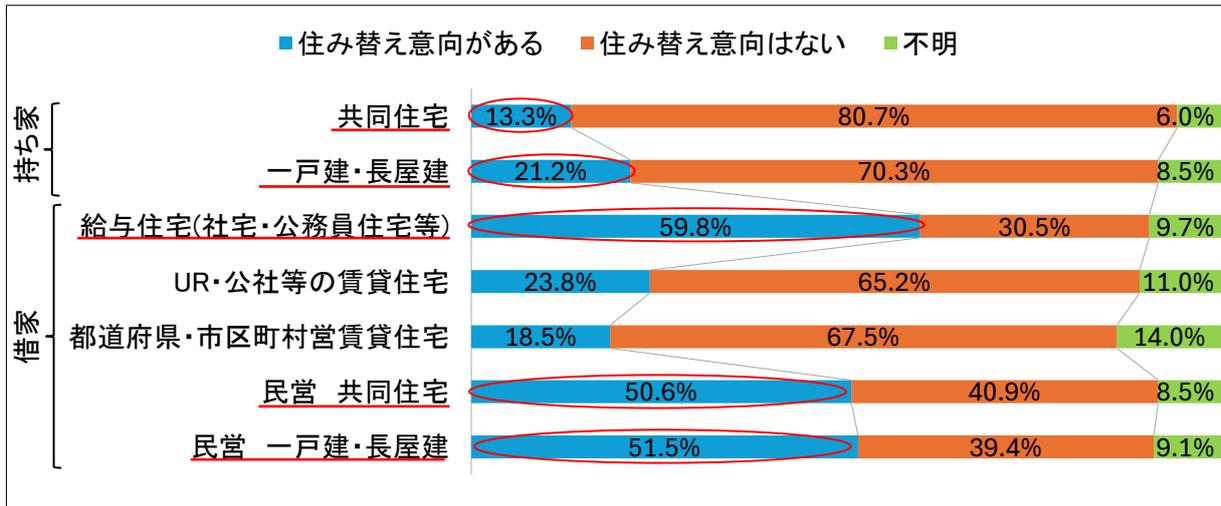
【住み替え意向がある世帯の上位項目】

○持ち家に住む世帯

- ・一戸建・長屋建 (21.2%)
- ・共同住宅 (13.3%)

○借家に住む世帯

- ・給与住宅（社宅・公務員住宅等） (59.8%)
- ・民営 一戸建・長屋建 (51.5%)
- ・民営 共同住宅 (50.6%)

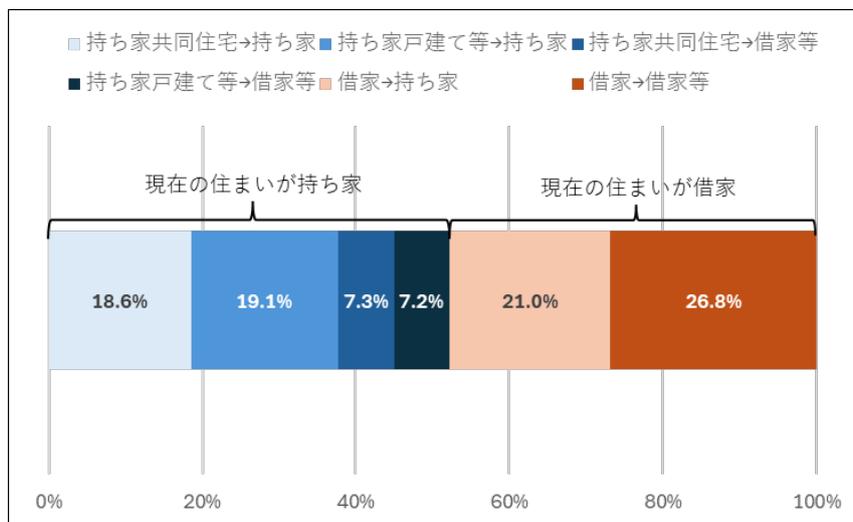


7) 住み替え希望先

調査対象：持ち家や借家等に住み替え意向のある世帯

【上位項目】

- ・借家→借家等 (26.8%)
- ・借家→持ち家 (21.0%)
- ・持ち家戸建て等→持ち家 (19.1%)



※中間報告のため、持ち家や借家等のうち住み替え先の種別を現在、把握できていない

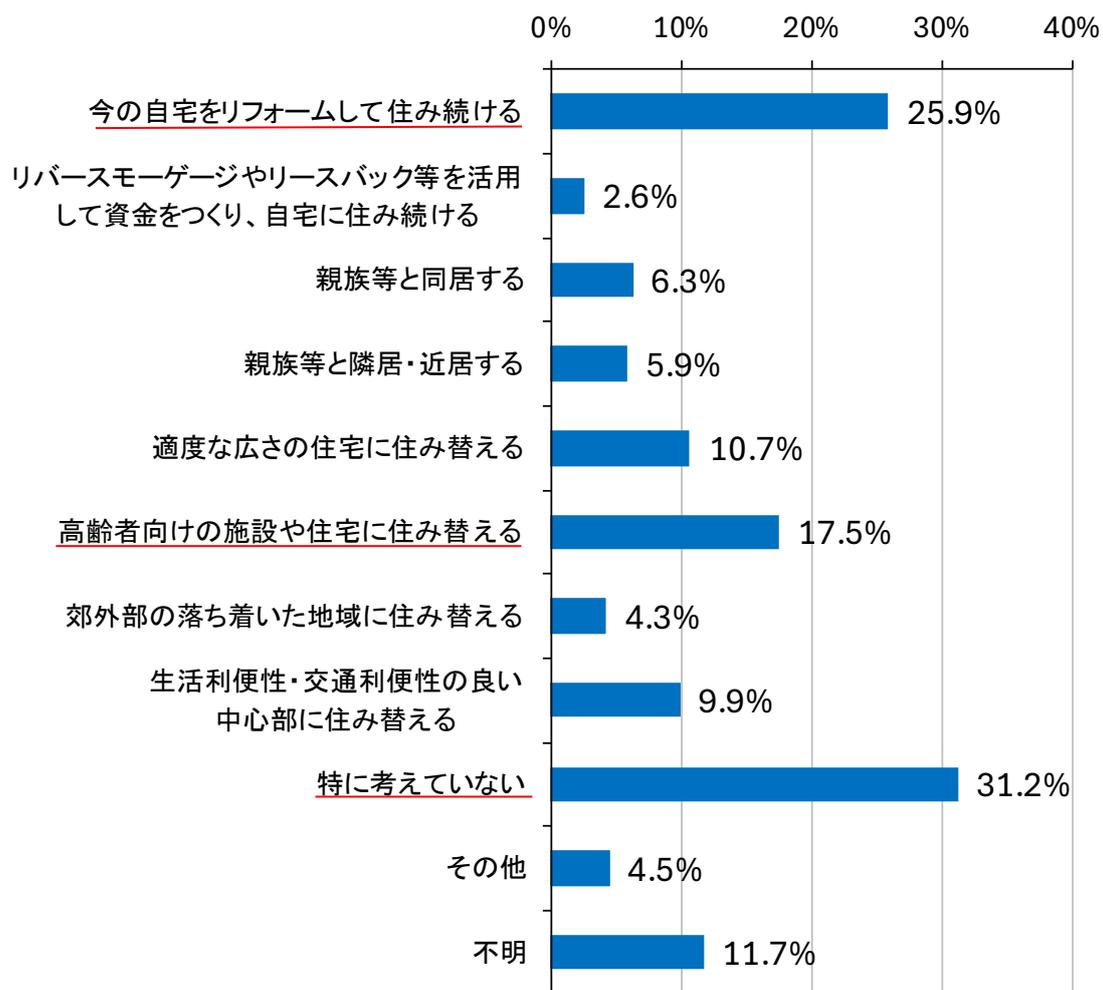
## 8) 高齢期における住まい方（望ましいと思うもの）

調査対象：全世帯

### 【上位項目】

- ・特に考えていない（31.2%）
- ・今の住宅をリフォームして住み続ける（25.9%）
- ・高齢者向けの施設や住宅に住み替える（17.5%）

### 高齢期の住まい方【県】（全世帯）



（複数選択可）